

【第5次津島市総合計画】施策評価シート(2023年度)

施策コード	13
-------	----

まちづくりの方針	1 保健・医療・福祉
施策	3 地域福祉・セーフティネット
施策のめざす姿	年齢・性別・障がいの有無などの区別なく、住民・地域・関係団体・行政がお互いに支えあい、すべての住民が安心して充実した生活を送ることができています。また、生活困窮者が、社会との関わりを持ち、自身の居場所や存在意義を見出し、社会の一員だと自覚し生活ができています。

まちづくり指標	現状値 (2019年度)	実績値					目標値	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2030年度
住民同士のふれあいや交流の状況が良いと感じる市民の割合(%) 【福祉課】	11.0	-	-				14.3	18.6
自立相談支援等件数(件/年)【福祉課】	148	159	79				180	210

施策の方針	担当課	実績・成果
		今後の方向

1 地域福祉の体制の構築 【重点】	福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉推進を目的として各小学校区ごとで設置をしている地区社協は、全校区で設置することができた。 ・R5.1月より、高齢者、障がいのある人及び妊産婦に対して、タクシー利用負担金の半額を助成することにより、通院や買い物などの日常生活の移動及び外出の支援を行うことができた。 ・地区社協が行う活動について、津島市社会福祉協議会とともに支援していく。 ・成年後見センター設置準備を行っていく。 ・現在は試行運行の段階であるため、市民からの意見を参考にしながら利便性の向上を検討するとともに、引き続き事業を行っていく。
----------------------	-----	--

2 生活困窮者への支援体制の強化	福祉課	<p>市役所1階に生活困窮者相談窓口を設置し、施策活用や融資の案内、就労支援等について相談を受け支援を行った。</p> <p>生活困窮者自立支援事業の任意事業である家計改善支援事業、就労準備支援事業、子どもの学習・生活支援事業等を実施していく。</p>
------------------	-----	--

--	--	--

--	--	--

総括評価	施策のめざす姿の達成状況	すべての住民が安心して充実した地域生活を送ることができるよう、地域づくり・相談体制の整備が進んできた。	評価	B
	施策のめざす姿の達成に向けて今後必要なこと	地域福祉を推進するための地区社協の設置がすべての校区でできたことにより、今後はその活動について津島市社会福祉協議会と連携し、支援を行っていく。生活に困窮する世帯に対して早期に支援し、社会資源の活用や就労準備支援や家計改善支援事業を活用した総合的な支援を行っていく。	方針	継続